

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



スクールバスと町内路線バスを一本化、地域住民の貴重な足へ（料金一律100円）

4月1日、松代停留所において地域住民、関係者が見守るなか、町コミュニティバス運行開始セレモニーが行われました。新年度が始まり、小学校の新一年生は、緊張しながらも上級生と一緒に乗車（写真右下）。駅前からは町民の方が次々と乗り込み（写真左下）、地域の貴重な足として「あじバス」はスタートしました。

3月
定例会号

第1回定例会・第1回臨時会 予算委員会の審議	2～3
29年度スタート 新年度の予算・主な取り組み	4～5
特集 財政課長に聞きました（今年度の予算は？）	6
5人の議員が一般質問（町民・町職員23人が傍聴）	7～11
議会改革の意義を学ぶ	12

平成29年 第1回 定例会

3月2日～15日

除排雪対策費3500万円補正 専決処分で対応

平成29年第1回定例会が3月2日から15日までの日程で開かれました。開会日には東條町長が新年度の施政方針を表明。また、各会計当初予算などの議案38件、報告3件、発議1件が上程されました。

上程議案等は各常任委員会、予算特別委員会に付託し審議され、最終日、本会議において全会一致により可決、同意、承認されました。

13日には一般質問が行われ、5人の議員が登壇し町政を問いました。(一般質問の内容は、7ページから11ページに掲載しています)
なお、主な議案等は次のとおりです。

▽安心お出かけバス運行条例の制定

平成29年4月1日からの本格稼働にあたり必要な事項を定めるもの。
(事項内容) 5路線、運賃は1乗降100円、町は運行業務を委託することができるとする。

▽消防団条例の一部改正

町消防団員の定数を400名から385名に改めるもの。(15名減)



買い物後、安心お出かけバスで帰路へ

▽課設置条例の一部改正

平成29年度から政策推進課に地方創生推進室を

統合し、新たに財政課(財政班・財産管理班)を新設するもの。

▽簡易水道事業給水条例等の廃止

平成29年4月1日から簡易水道事業(鱈ヶ沢地区・芦荻地区・種里地区)を廃止し、上水道事業に統合するもの。

▽町職員の給与の特例に関する条例の廃止

平成17年度から不支給となっていた職員の管理職手当を支給することとするとともに、不適用となっていた職員の期末、勤勉手当の加算割合を適用することとしたもの。

▽浜横沢財産区管理会管理委員の選任 (同意)

欠員となっている管理

委員に佐藤清美氏を選任するもの。

▽専決処分 (承認)

一般会計補正予算

1億698万円

・あじがさわ未来応援基金積立 4000万円

・あじがさわ未来応援寄附金に対する返戻等 2379万円

▽アユ中間育成施設等改修

・1月の落雷被害による装置等を修繕するもの。

・除排雪対策費 3500万円

※2月降雪量の増加により追加補正したもの。

※3月14日の予算特別委員会では、齋藤議員から



車道が狭くなった中村地区の除排雪作業の様子

気になる28年度の除雪費は

※鱈ヶ沢町の平成28年度除排雪対策費は、2月、

3月の山間部の降雪量増加等の要因により、前年度比4948万円増の1億4851万円となりました。

▽当初予算額

1億176万円

▽補正対応額

4675万円

(3月定例会で承認した3500万円の専決処分を含む)

発議とは?

議員が提出する議案のことをいいます。

除雪委託業者が出動する降雪基準や請負地域の配置についての質疑もありました。

▼発議第1号 町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(改正内容)

議員の県外旅行(出張)に係る日当を町職員等の旅費に関する条例にならい支給することとしたもの。

予算特別委員会 3月14日



平成29年度の一般会計当初予算は、議員全員による予算特別委員会（東條一彦委員長）を設置して審査しました。予算特別委員会では、様々な質疑が行われましたが、このページでは審議の内容を一部抜粋、要約してお知らせします。

コミュニティバスの時刻表が複雑では

問 長谷川議員 4月から開始するコミュニティバス運行は土日、平日とで時間が変わっているが、学校行事で帰路の時間が変わる場合は、臨時

便で対応するものか。

答 小笠原政策推進課長 小、中学校でも事情が違い苦慮しているところだが、事前にわかっているものは、前月に変更時刻表を每户周知できるように対応を考えている。それ以外の変更や、やむを得ない場合は、個別のバス対応で考えている。

幼児体力づくり教室の内容は

問 菊谷議員 実際どんなことをして幼児の体力づくりをしているのか。

答 齋藤福祉衛生課長 29年度の新規事業で、鱒ヶ沢こども園で実施している体育教室を町内の全保育所（こども園含む）で行うもの。体育専門のインストラクターに指導してもらい、マット運動や跳び箱を使い幼児の体力向上に努めていく。

りんご園防風網張替補助金の対象は

問 神議員 防風網は開閉式、ワイヤーと二通りあるが、補助金該当はどちらか。

答 一戸農林水産課長 種類は決めておらず、設置している既存の防風網の劣化部分で、メー

ター2千円で考えている。昨年度は予算計上したが、残念ながら申請者がなく、今年度も一度周知し、実施したいと考えている。

鳥獣被害防止抜本的対策を

問 一戸議員 銃免許取得者減少の中、その育成に力を入れる考えはないか。

答 一戸農林水産課長 免許取得から銃保管、銃購入までの手厚い補助を昨年度から実施し、20万円まで助成している。その結果、3名が銃を取得、猟友会に加入を予定している。29年度も申請希望者があり、若返りと同時に駆除協力者が増えている。

意見 長谷川議員 サルの被害対策に鷹の声や銃の音を発するように整備したドローンを導入している自治体もあるので、検討をお願いしたい。

第1回臨時会 4月20日

不燃ごみ収集車 購入を議決

平成29年第1回臨時会が4月20日に開催されました。

契約金額は1225万8000円。（受注生産により納車期日は平成30年3月15日）



老朽化したごみ収集車

本臨時会には財産の取得（不燃物収集車1台）等、議案4件、報告1件が上程され、審議の結果、全会一致で可決、同意、承認となりました。

議決された議案の主な内容は、次のとおりです。

▽不燃ごみ収集車の購入（可決）

不燃ごみ収集車の購入にあたり指名競争入札をした結果、いすゞ自動車東北(株)青森支社五所川原営業所と契約を締結することにしましたもの。

▽北浮田財産区管理会管理委員の選任（同意）
欠員となっている管理委員に長谷川孝氏を選任するもの。

▽浜横沢財産区管理会管理委員の選任（同意）
欠員となっている管理委員に澁谷忠光氏を選任するもの。

▽専決処分（承認）
一般会計補正予算

減額2548万円
地方交付税等が決定したことに伴う予算措置。

住環境の整備に重点！

新年度スタート

29年度の主な取り組み



あじバス運行に伴い、目的外バス運行委託料は前年度比半分の予算となります。

□あじバス（コミュニティバス）運行委託料
1億3855万円
□教育バス運行委託料
（※部活等目的外運行）
820万円

平成29年度の一般会計当初予算は、予算特別委員会の審査を経て、本会議で全会一致で可決されました。
このページでは、一般質問、予算審議で議論された事業や新年度の主な取り組みについてお知らせします。



登録制で、利用日の前日までに事前予約が必要。平日のみの運行。（1乗降100円）

□安心お出かけバス運行委託（買い物等）
400万円
〈委託先〉 鱒ヶ沢町社協



旧鱒ヶ沢第一中学校前にある鳴戸団地（写真は建設予定地の一部）人口減少が進む中、若い世代の町内定住も期待されます。

□町営住宅鳴戸団地建替（2棟4戸）建設費
7254万円

4月から医療費無料の対象が12歳から15歳までに広がり、予算額は前年度比380万円増。（予算の半分は、ふるさと納税（寄付金）が充てられています）



□子ども医療費無料
中学生まで拡充
2180万円

29年度で全町内の街路灯が、LEDへ交換となり、地域住民の安全確保と維持管理費の削減につながります。



□公衆街路灯LED化（中村・赤石地区）
2600万円



29年度の申請団体が少なく、申請額も予算範囲内のため、町では追加募集を開始。（写真は、前年度の補助団体活動報告会のようす）

□元気あふれるまち再生推進事業（公募制補助金）
500万円
〈前年度比250万円増〉



28年度に一期工事（外壁等）が終了し、新年度はプールエリア屋上の防水工事等を実施。町民のほか県内の各大会で利用されています。

□室内温水プール大規模改修（二期工事）
1億64万円

長平・和開地区の消防団統合に伴い、ポンプ積載車両を購入し、収容する消防屯所を増築。（平成27年度の統合により定員数2名減）



□長平消防屯所増築事業
消防ポンプ積載車購入
1218万円
320万円



（写真は旧芦荻小学校校舎）
29年3月に町公共施設等総合管理計画が策定され、今後は旧小、中学校の利活用等について検討されます。

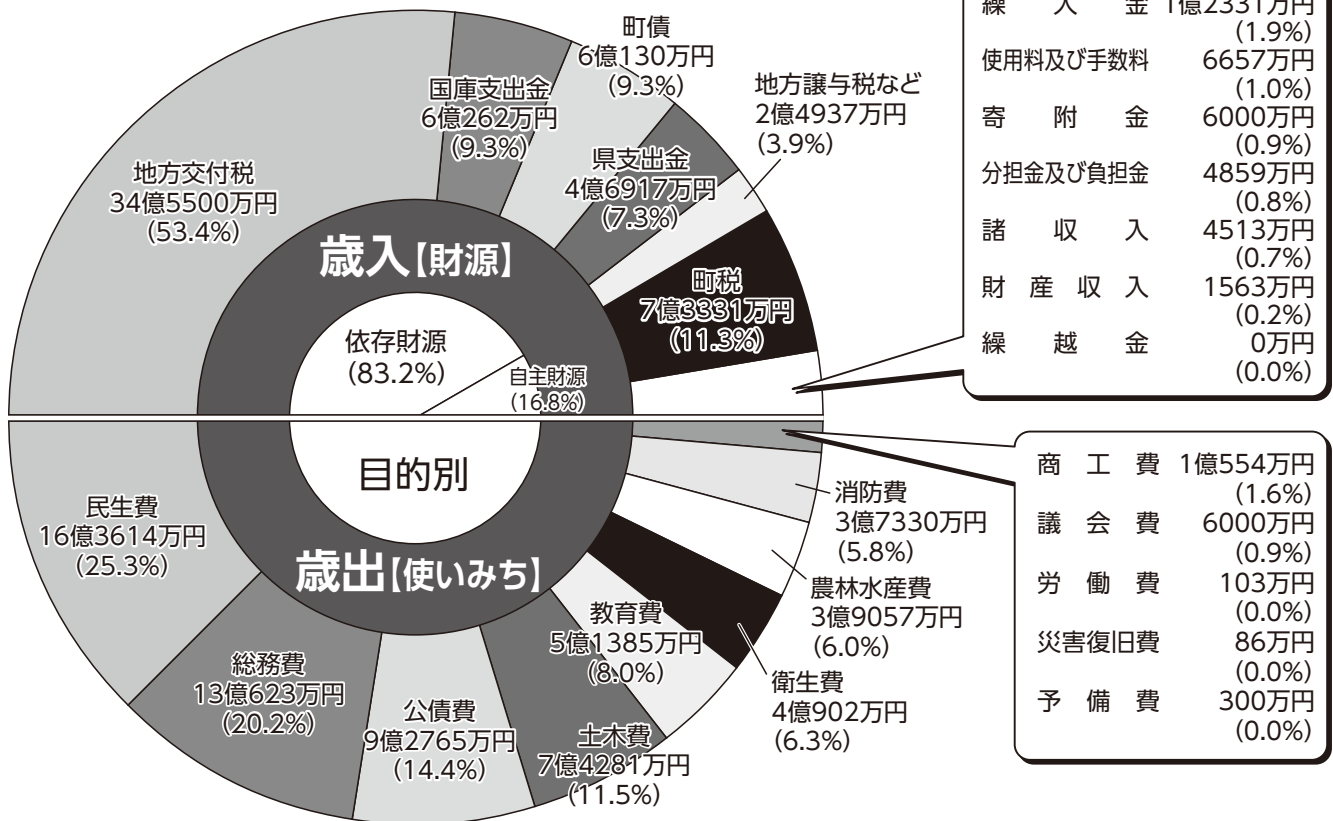
□廃校校舎解体
2487万円
（旧芦荻小・旧浜横沢小、旧第二松代分校校舎）

平成29年度
予 算

地域公共交通・ 一般会計 64億7000万円

一般会計予算の内訳

【前年度比】 7億1000万円減



平成29年度 一般・特別・企業会計予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	対前年度伸率(%)	
一般会計	64億7000万円	71億8000万円	7億1000万円	-9.9 ↓	
特別会計	国民健康保険事業	19億1157万円	19億3365万円	-2208万円	-1.1 ↓
	農業集落排水事業	1億3208万円	1億3293万円	-85万円	-0.6 ↓
	小規模水道事業	482万円	527万円	-45万円	-8.5 ↓
	公共下水道事業	3億6711万円	3億3047万円	3664万円	11.1 ↑
	墓地公園事業	20万円	20万円	0	0.0 —
	介護保険事業	14億8470万円	16億3791万円	-1億5321万円	-9.4 ↓
	後期高齢者医療	1億2246万円	1億1677万円	569万円	4.9 ↑
	水産業振興事業	2704万円	2354万円	350万円	14.9 ↑
【企業会計】水道事業	4億2206万円	2億9146万円	1億3060万円	44.8 ↑	
全合計	109億4204万円	116億5220万円	-7億1016万円	-6.1 ↓	

平成29年4月1日から簡易水道事業特別会計に属する資産及び決算上の余剰または不足若しくは権利義務は水道事業(企業会計)へ移行されました

※予算額は、万円単位(四捨五入)で表示しています

今年度の予算はどんな予算なの？

財政課長に聞きました

集

特

LEAD

平成29年度鱈ヶ沢町一般会計当初予算案が3月定例会において全会一致で可決されました。今年度の予算は、どういう予算なのか。中身は。これらについて広報委員が取材しました。

このページではその内容をお知らせします。質問者は、広報委員会の東條議員、菊谷議員。回答者は千島町財政課長です。

予算総額は

Q 今年度の予算総額は、昨年度と比較してどうなっていますか。
A 予算総額は、64億7000万円で昨年より約7億円の減となっています。昨年度は、新消防庁舎の建設予算を7億6000万円ほど見ていましたので、ちょうどその分、少なくなったということ

町の貯金と借金の状況は

Q 町財政は、数年前、5年連続の赤字決算に陥るなど、危機的状況でした。財政調整基金(町の貯金)も一時期、8万9000円という信じられない額しかなかったことがあったようですが、現在はどのくらいになっていますか。

になります。

A 今年5月末時点では、4億2700万円になる見通しです。昨年よりも3000万円の増加です。

議員のみなさんには、毎年、収支がいくら黒字なのかだけではなく、財政調整基金などの基金残高にも目を光らせてほしいですね。

Q 予算に対する公債費(借金の返済に関わる経費)の割合が他市町村に比べ高いと言われていますが。

町役場新庁舎建設の予算は

A 実質公債費率は、まだ高い状態にあります。年々減ってきています。赤字から脱出して、事業もある程度のものでできるようなにはなっています。

Q 町では、新庁舎の移転新築に動き出しました。今年度予算では、関連予算を控えていますか。

A 庁舎新築関連予算として283万円を計上しています。内容は、新庁舎建設検討委員会の委員報酬、旅費、測量業務等の予算です。

Q 大きな事業となりますが、財源は。

A 緊急防災・減災事業債という起債が財源となります。

事業内容は、充当率100パーセントで70パーセントが交付税措置されるという大変有利な制度です。(詳しくは7ページ 菊谷議員、10ページ 藤議員の一般質問をお読

みください)

Q 起債の返済についてはいかがですか。

A 事業費の30パーセントは、自主財源で返済していかなくてはいけません。返済期間は30年間としています。

中泊町でも新庁舎を建設していますが、たとえば中泊町新庁舎並みの建設費であれば、年2000万円程度の返済となります。

新庁舎は平成32年度完成の予定ですが、時を同じくしてそのころには大型の起債の償還も終わることになるので、財政的な負担は、少ないと考えています。

ふるさと納税原資の事業は

Q 最後にふるさと納税についてお聞きしたいのですが、担当課職員の間にもあって、鱈ヶ沢町は全国各地から多額の寄付をいただいているようですね。

A 27年度の寄付額は県内

の町村で第1位でした。

28年度は楽天との協力体制がスタートしたこともあり、寄付額は前年度より3000万円ほど多い1億2000万円くらいになる見込みです。

Q この寄付を原資とした今年度の歳出では、どのような事業に充てているのですか。

A ふるさと納税で寄付いただいた額は、あじがさわ未来応援基金に積みこたくなりますが、今年度は基金から5320万円を取り崩し、子育て支援、産業振興、教育振興などの事業に充てています。

主なものでは、子ども医療費無料化の助成2180万円の半分、町民を対象とした公募制補助金に500万円、白八幡宮大祭助成金300万円などですが、そのほかにも保育所への予算配分、漁協の養殖事業、空き店舗活用に対する助成などに充てています。



取材する東條議員、菊谷議員

一般質問



渋谷 悦男議員

3月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。その内容を本ページから11ページまで掲載します。

強い意志を持って役場新築移転を進めるべきでは 答へ有利な起債活用によりこの機会を逃さず実施したい

答弁・佐藤副町長

新庁舎建設に向けては、基本構想の策定が必要となります。

問・現在の役場庁舎は、昭和48年の竣工以来、築43年を経過した中で、老朽化に加え、日本海中部地震などの要因から建物自体の劣化もかなり進んでいます。

先日の会議において町長から役場庁舎新築移転を計画していると聞きましたが、庁舎移転は重要な課題であり、この機会を捉え、前向きに進めるべきだと思います。

新築移転に当たっての具体的な計画と今後のスケジュールをお示ください。

基本構想には、基本理念や方針、建設規模や建設予定地なども盛り込みたいと考えており、当然、住民の意見も幅広く頂戴したいと考えています。

したがって、議会議員のほか、住民団体の代表や公共的団体の代表など、おおむね15名程度で新庁舎建設検討委員会を4月には立ち上げ、今年の9月ころまでには基本構想を取りまとめたいと考えています。

その後、基本設計、実施設計作業等の事務発注を行い、平成32年度末まで

でに事業を完了したいと考えています。

財政面での見通し

問・有利な財源を活用できるといつても財政基盤の弱い当町においては、どうしても財政面での不安が拭い切れません。そこで、財政的な見通しについてお知らせください。

答弁・佐藤副町長

国の財政支援制度である緊急防災・減災事業、この制度は平成28年度で終了が見込まれていますが、平成29年度から32年度まで4年間の制度延長が決定しました。

この事業は、防災対策

の拠点となる施設等の移転等が対象となります。

現庁舎は、津波浸水区域に立地しています。

したがって、高台移転ということになると、この事業の対象になるとい



津波浸水区域に立地している役場庁舎

うこととなります。この緊急防災・減災事業は、地方債の充当率100パーセント、元利償還金として70パーセントが普通交付税として国から算入される、極めて有利な借り入れ制度であります。

この制度が活用できるのであれば、財政負担の軽減が大きく図られるものと認識しています。

平成32年度までの庁舎建設事業ということであれば、起債の償還開始と入れかわり、交代するよ



日本海中部地震により発生した亀裂

うに大型の起債償還の終わりも見込まれていますので、償還可能な財政状況と考えています。問・財政的に可能と判断したのならば、強い意志を持って進めるべきだと思いますが、役場新築移転について、いま一度、町長の決意をお聞かせください。

答弁・東條町長

7割の交付税があり、あと3割(起債)ということであれば、何とか返済も可能だということ、私としてはぜひ今この機会を逃さないでやっていければと思っておりますので、皆さんのお力添えをいただきたいと思っています。

意見・この件に関しては町民も非常に強い関心を持っていて、

ぜひ町民の理解のもと、そして、財政面においては、十分、思慮、留意し、また、議会との情報共有、このことを強くお願いしたいと思っています。



長谷川統一議員

コミュニティスクール導入の考えは 答へ制約の多い制度であるため緩やかに進めたい

答弁・神教育長

コミュニティスクール

その後の検討は

問・コミュニティスクールとは学校と保護者、地域住民が学校運営に意見を反映させて、地域とともにある学校づくりを進める制度です。

当町は、人口の割に学区が広く、今後の少子化等を考えると、学校教育のみで郷土愛を育むということには限界を感じる中、この制度は当町にもってこいの施策であると考えられることから、以前の質問で導入する考えはないかお聞きしました。そのときの答弁で、いろいろなることを判断しながら前向きに進めていきたいとありました。そこで、その後のような検討がなされたのか、お答え願います。

ていきたいと考えています。

コミュニティスクールの制度では、学校運営協議会という組織を設けることとなりますが、学校運営の基本方針は、その協議会の承認が必須の条件となります。

また、運営協議会制度は、教職員の任用、人事に関する意見具申ができるというかなり強い権限、重い責任を持っています。

運営協議会制度が学校にとっては、かなり制約のある制度というところで、地域とともにある学校という目的には、賛同するところではありますが、すぐに導入するのではなく、緩やかに進めていきたいと思っています。

今後、コミュニティスクールについては、教育委員会、そして、町総合教育会議等の場で協議し

若い世代の定住促進についての考えは
問・空き家等の再利用を



2階建てのファミリー型住宅

考慮した若い世代の定住促進計画に対する町の考えはどうか、お聞かせください。

答弁・佐藤副町長

空き家の活用は、多くの自治体の共通課題であります。

特に鰯ヶ沢のような小規模市町村にとっては、広域的な体制でないとなかなか前に進まないと感じています。

このようなことから、圏域市町2市4町で構成されている五所川原圏域定住自立圏の取り組みの中で、空き家物件を対象とした空き家バンクの設立に向け、行政担当のみならず、宅建業者を交えて意見交換などを行ってるところであります。

このことにより専門的な事務が軽減され、空き家利活用の動きが促進されるものと思います。

問・今後の人口減少対策として、若い世代向けの町営住宅の提供計画はどのようになっていますか。

答弁・佐藤副町長

公営住宅法に基づき、低所得者に賃貸することを目的に町が建設した町営住宅は、現在のところ5団地64棟161戸を管理しています。

更新計画では、29年度においては鳴戸団地2棟4戸の建てかえを実施したいと考えています。

意見・今後、高齢者の方には高齢者向けの集合住宅の建設とか、若い世代はマイカー率が高いので、舞戸地区以外、集団住宅以外の住宅を建築し、なおかつ地域コミュニティ

にも参加していただくなど、町にとっても住宅整備に方向性や計画性が必要であると考えます。

先進地で実施している例もあるようですので、それを調べて、施策としての検討をお願いできればと思います。

※長谷川議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆総合型地域スポーツについて



鶴田 悦子議員

保健教育の活動内容

問・義務教育の保健は、各市町村の教育委員会が担当することになっていきます。

鰐ヶ沢町教育委員会では、町内小中学校においてどのような活動をされていますか。

答弁・神教育長

町では、町内の小学校、中学校、保育園、認定こども園、町健康ほけん課、教育委員会による構成で町学校保健会を設置し、町内の児童生徒、幼児の生涯保健教育の推進を図っているところです。

小中学校においては、学校保健の年間計画に基づき、健康、安全生活など心身を良好に保つ取り組みをしています。具体的には、食事を通

中学生の高血糖値に対する適切な対応を 答へ他組織と連携して早めに対応

じた健康管理を目的に栄養教諭が小学校、中学校に出席して授業の中で食の指導をしています。

問・12月議会では、教育長から親子プロジェクトをはじめ、学校を挙げての保健教育に力を注ぐといった答弁がありました。

健康ほけん課との連携はもろろんですが、何よりも保護者との連携が極めて大事であると思えます。

社会教育主事をいろいろ動かして社会教育事業の中で保護者に指導をすることが必要ではないかと思えますが、いかがでしょうか。

答弁・神教育長

具体的に社会教育主事が学校に入っていくという形では現在進んでいませんが、社会教育主事の役割も大切であると思っていますので、社会教育

主事がかわることについても色々な組織とつながりを持ちながら、より一層検討していきたいと思えます。

問・病気は、日常の生活、食べ物、あるいは生活そのものが生き写しになっていきます。

これをどういう具合にして打開していくか。このことについてはいかがですか。

答弁・神教育長

学校の保健計画の中にも保護者に対する教育があります。

健康ほけん課のいろいろな事業においても子育て中の保護者を対象とした食、運動などの研修も必要ではないかと思えます。

へモグロビンA1cの結果の対応は

問・12月議会、鰐ヶ沢



校内の調理実習で町栄養士から、塩分を控えバランスの良い食事の指導を受ける中学生

中学校の生徒の高血糖値の問題に関連して、若いうちに手を打つことを切に願うために、学校や家庭の対応を教育長にお願いします。

鰐ヶ沢中学校のへモグロビンA1cの結果について、教育長はどのような対応をしていますか。

答弁・神教育長

へモグロビンA1cの

検査結果は、直ちに子供を通じて保護者に通知し、その後の病院受診の有無及び結果を健康ほけん課と情報共有しています。

また、12月議会で鶴田議員に先生方の健康教育について指摘を受けていますが、来年度は、先生方に対する健康意識アップのための事業を健康ほけん課と教育課が一体となって計画しています。

さらに、学校主導の健康教育を総合学習の題材として取り上げるなど、体系的な健康教育を展開

していきけるように、そのプログラムを見直していきたいと考えています。それと糖尿病予備群や肥満の子供が鰐ヶ沢は多いという率も出ていますので、授業の中での健康教育など事後の指導についても現在その内容を詰めているところです。

いずれにしても、学校での健康教育を積極的に教育課程の中で展開していきたいと考えています。

問・中学生が今予備群になつていますが、このままにしておけば青年期には糖尿病で悩まされます。生活改善等、きちんとした対応をお願いしたいと思えますが、教育長に決意をお聞かせします。

答弁・神教育長

検査を実施したら直ちに手を打つ、また、養護教諭、保健師と情報共有をして、教育委員会としても健康ほけん課、学校と連携しながら早目の対応をしていきたいと思えます。



齋藤 孝夫議員

新庁舎新築移転についての財政計画は 答へ極端な負担増とならない財政運営は可能

政運営が可能であると捉えています。

青写真を提示したいと考えています。

ことはないのかお答えください。

イカは不漁のようです。今までアワビ、クルマエビ、ナマコなどの放流事業を進めているようですが、今後の漁業振興についての考えをお聞かせください。

振興策も振興費もここ何年間か、ずっと減ってきています。思い切って1000万単位の規模で放流、育てる事業などに使っていくべきだと思いますが、町長、思い切った策はできないものですか。

財政計画があつての庁舎新築なのか

問・移転後の現庁舎、公民館、開発センターなどの今後の利用計画はどのように考えているのか、お知らせください。

問・まだまだ借入金がある中で、せめて拠点館の借入金の返済にめどがつくまで我慢できないものですか。

答弁・佐藤副町長
今の庁舎の状況等を考慮すると、近い将来、必ず建設の問題が起きるものと予想されます。

答弁・佐藤副町長
町としては、つくり育てる漁業の推進、漁協の経営の向上、鮮度の保持技術等に取り組みながら漁協等関係機関と連携して今後の漁業振興につなげていきたいと考えています。

答弁・東條町長
今年、特に夏イカが不漁で、どこの漁協でも頭を悩ませているということですが、アワビとナマコは、結果が出ていますので継続して放流を行いたいと思っています。

中長期的財政計画があつての庁舎新築なのか、また、財政計画はしっかりしているのかお聞きします。

答弁・佐藤副町長
今後、新庁舎の基本構想等を策定していく段階で、跡地利用という観点から基本的な考えとなる

答弁・佐藤副町長
拠点館の借入金については、ここ数年の間に返済が終了するというたぐいのものではありません。したがって、返済の完了を待つてからということについては、庁舎建設の計画自体がかなわないという事態になりま

答弁・佐藤副町長
財政的な立場、見地からすれば、今有利な財源がありますので、この機会に建設を検討するということとは、むしろ負担の軽減につながるものかと思えますので、この機会に検討を進めたいと考えています。

具体的には、水産施設改修事業、放流事業に対する助成のほか29年度からはサケの回帰率向上事業の実施、27、28年度は防藻剤購入費等の助成もしています。

また、漁協に対する水産業施設の改修費として今年度は240万円、29年度は200万円の助成をすることになっており、これからも漁協と連携して漁業振興を図っていきたいと思います。

庁舎建設を想定した今後の財政状況ですが、財政状況を判断する指標である健全化判断比率の部分においてその基準値に抵触する事態には至らないと考えています。

問・よい財源があるからと飛びついて、子供たちに残る

問・漁業振興について質問します。

問・我が町は海の町です

問・我が町は海の町です

問・我が町は海の町です

今後の起債償還に当たっては、全体的な推移を予測しながら極端な負担増とならないような財

問・よい財源があるからと飛びついて、子供たちに残る

問・漁業振興について質問します。

問・我が町は海の町です

問・我が町は海の町です

問・我が町は海の町です



2階図書コーナーのみ開設している日本海拠点館

問・よい財源があるからと飛びついて、子供たちに残る

問・我が町は海の町です

問・我が町は海の町です

問・我が町は海の町です

◆コミュニティバスの運行についてPRはしっかりできているのか。

※齋藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。



今 勝義議員

公共下水道事業を縮小していくべきでは 答〈平成32年度以降採算性財政負担を考慮し検討〉

採算性の確保を持って下水道事業を

問・公共下水道事業についてお聞きします。

当町において公共下水道事業は、平成8年2月27日に開始され、それ以来21年が経っています。

平成28年4月1日現在で、公共下水道加入世帯は425件。

平成27年度時点で、執



29年度は鱈ヶ沢地区本町から浜町方面の下水道工事に着手

事が財政難のため下水道工事業を途中で廃止したと、野辺地町、横浜町も同様の事例であることが掲載されています。

少子高齢化の中で人口減少により採算性が難しいこと、加入者がいないことなどがその要因であるようです。

そこでお聞きします。この先、加入者はありませんか。事業を縮小していくべきではありませんか。

答弁・佐藤副町長 公共下水道事業は、公衆衛生の向上と、公共用水域の水質保全に資する観点からも必要な事業と考え、平成7年度の末より事業認可を受けて事業に着手しています。

事業を実施するに当たっては、青森県とも協議し、平成32年度までの計画については、認可を得て着実に事業を進めたいと思っています。

事業の縮小等については、32年度までの認可期間を経た後、社会情勢や町の状況、町の計画等を十分考慮し、検討したいと考えています。

23億4784万円ということであります。27年度決算では、事業の地方債(借金)残高は、約26億円でありますが、このままいくと借金が膨れ上がってしまうのではないかと思います。

先日の新聞で、黒石市が財政難のため下水道工事業を途中で廃止したと、野辺地町、横浜町も同様の事例であることが掲載されています。

少子高齢化の中で人口減少により採算性が難しいこと、加入者がいないことなどがその要因であるようです。

そこでお聞きします。この先、加入者はありませんか。事業を縮小していくべきではありませんか。

答弁・佐藤副町長 公共下水道事業は、公衆衛生の向上と、公共用水域の水質保全に資する観点からも必要な事業と考え、平成7年度の末より事業認可を受けて事業に着手しています。

事業を実施するに当たっては、青森県とも協議し、平成32年度までの計画については、認可を得て着実に事業を進めたいと思っています。



中泊町新庁舎

中泊町新庁舎を視察



議場内、質問席やモニターなどを視察する議員

渋谷議員、齋藤議員が質問しているとおり(7ページ、10ページに掲載)、町では、緊急防災・減災事業債を活用した役場庁舎の移転、建設に今年度から本格的に取り組むことになりました。

今回の視察は、今後新庁舎建設を検討するに当たり、鱈ヶ沢町とほぼ人口が同規模である中泊町新庁舎を実際に見学し、今後の計画の参考にしたいと考えています。

中泊町新庁舎の建設事業費は、総額約20億円(本体工事費は約18億円)。本年1月4日から新庁舎での業務が開始されています。

議会改革特別委員会

今なぜ議会改革が必要か

青森中央学院大学で研修

鯉ヶ沢町議会改革特別委員会（長谷川統一委員長）では、3月28日、青森中央学院大学において議会改革に関する学習会を開催しました。当日は、同大学経営法学部佐藤淳准教授の講義を受け、議会改革の意義について認識を深めました。

学習会には、長谷川委員長のほか委員、一戸議長、議会事務局職員合わせて9名が参加。

学習会では「今、なぜ議会改革が必要なのか」をテーマに、全国の議会改革の動向、六戸町議会の活動など、全国の先進事例、県内の議会改革の取り組みについて説明を受けました。

この中で佐藤准教授は、議員自らの意識改革が何よりも大切であるとし、今後は鯉ヶ沢町議会の活動として住民との意見交換会を行うこと、議会基本条例を策定するこ

と、これらについて考慮し、実践してほしいと話していました。

この日の講義は、聞く、考える、対話するという方法で行われ、委員は講師とともに議会改革について様々な議論を行い、議会改革の意義について認識を新たにしました。

講義の最後には、講師から本気で頑張るところには応援しますと力強い言葉もいただきました。



大学の教室で議会改革について講義を聞く議員等

特集「まち再発見」は休載しました。

何回かにわたり佐藤准教授に議会改革についての指導、助言をお願いすることになっています。

なお、町議会の議会改革の取り組みについては、今後、当紙で特集を組み、みなさんにお知らせすることになっています。

第2回定例会の予定 議会の傍聴をお待ちしています

- 6月8日(木) 開会
 - 6月12日(月) 一般質問
 - 6月13日(火) 総括質疑 討論、採決 閉会
- ※全日程、午前10時開催予定

一般質問の議員氏名、質問事項については、町防災無線、町ホームページでお知らせする予定です。



お知らせ

鯉ヶ沢高校 模擬議会開催予定

- 日時：7月7日(金) 午後
- 【主催】鯉ヶ沢町・青森県立鯉ヶ沢高等学校

※学校関係者だけではなく、一般の方の傍聴も検討しています。詳細については、町ホームページでお知らせする予定です。

- 場所：町役場3階 議会議事堂

昨年、21年ぶりに中学生模擬議会を開催しましたが、今年度は、選挙権18歳を間近に控えた**鯉ヶ沢高校2年生35名の生徒**を対象に高校生模擬議会を実施します。